

❀ 美の達人に聞く

# 「コツと気遣い」でメイク上手に



## PROFILE

ミキヤ クレイマージュ 代表取締役

**木村幹彦**さん

国内外メーカーのトップアーティストを経て、1987年「ミキヤ クレイマージュ」設立。女性の「無限の美」をテーマに、サロン、スクールやオリジナルコスメブランドを展開

ファッションが秋モードへチェンジするこの季節。オシャレを彩るメイクも、いつもとは違う演出で楽しみたいもの。

「トレンドにとらわれすぎることなく、ラインの引き方、色の入れ方など、まずは正しい知識を身につけることが必要です」と話すのは、「ミキヤ クレイマージュ」代表取締役・木村幹彦さん。イメージを変えようと、気合を入れがちな、まゆやチークなどのポイントメイクについて、「まゆ尻はブラシでほかさず、一本のラインで終わらせれば、

涼しげな目元に、アイカラーは、目を開けたまま、まぶたのくぼみに入れ、チークカラーは、ほお骨の下に。どちらも骨格に沿ってカラーを入れると、キレイに仕上がります」と、「コツ」を話します。同サロンでは、「メイクのプロ」の技を体験しながら、アドバイスも受けられるそう。

また、「TゾーンやU元のお化粧直しをきちんとするだけで、キレイな印象を与えられます」と木村さん。この秋は、少しのコツと気遣いで、メイク上手になれるかも。